

## 2014年度第1四半期決算について

### <損益実績(連結)>

(単位:億円)

	2014 1/四	2013 4/四	2013.4/四 →2014.1/四
売上高	13,614	14,786	- 1,172
経常利益	743	788	※ - 45
特別損益	-	93	- 93
当期利益	483	499	- 16
<一株当たり当期利益>	< 5.3>	< 5.5>	< - 0.2>
有利子負債	21,805	22,963	- 1,157
D/Eレシオ	0.80	0.86	-0.06

### ※ 連結経常利益差異の内訳

(単位:億円)  
2013.4/四  
→2014.1/四

### 連結経常利益 差異 -50

#### 1. 製鉄事業 +50

- ① 生産出荷 ~
- ② 販売価格・構成 -100
- ③ 原料価格(キャリーオーバー含む) +100
- ④ コスト改善(統合効果含む) +50
- ⑤ 在庫評価差 -40
- ⑥ グループ会社 +40
- ⑦ その他 ~

#### 2. 非鉄事業 -90

#### 3. 調整額 -10

### <諸元>

#### (1) 当社

	2014 1/四	2013 4/四	2013.4/四 →2014.1/四
連結粗鋼生産量(万t)	1,186	1,163	+ 23
単独粗鋼生産量(万t) *1	1,129	1,101	+ 27
鋼材出荷量(万t) *1	1,043	1,067	- 24
鋼材価格(千円/t) *1	87.6	88.4	- 0.8
為替(円/\$)	102	103	1円高

\*1 日鉄住金鋼鉄和歌山を含む

#### (2) 全国

粗鋼生産量(万t)	2,766	2,757	+ 9
鋼材消費(万t) *2	1,590	1,652	- 62
(うち 製造業)	(1,015)	(1,050)	(-36)
<製造業比率>	< 63.9%>	< 63.5%>	< + 0.3%>
普通鋼鋼材消費(万t)	1,261	1,320	- 59
建設	544	572	- 28
製造業	718	748	- 30
特殊鋼鋼材消費(万t)	328	332	- 4
国内メーカー問屋在庫(万t)	*3 584	568	+ 16
薄板三品在庫(万t)	*4 424	411	+ 13

\*2 当社推定値 \*3 6月末(速報) \*4 5月末(確報)

### <セグメント情報>

(単位:億円)

	2014 1/四	2013 4/四	2013.4/四 →2014.1/四
売上高	13,614	14,786	- 1,172
製鉄	12,189	12,788	- 599
エンジニアリング	754	1,103	- 349
化学	521	559	- 38
新素材	90	87	+ 3
システムソリューション	447	581	- 134
調整額	▲ 389	▲ 332	- 57
経常利益	743	788	- 45
製鉄	710	655	+ 55
エンジニアリング	19	100	- 81
化学	8	0	+ 8
新素材	4	▲ 0	+ 4
システムソリューション	32	53	- 21
調整額	▲ 31	▲ 20	- 11

## 2014年度 上期及び年度見通しについて

### <損益見通し(連結)>

(単位:億円)

	1/四	2/四見	2014 上見	2013 下実	2013下実 →2014上見	2014FY見
売上高	13,614	13,886	27,500	28,415	- 915	
経常利益	743	757	1,500	1,874	※ - 374	4,000
当期利益	483	367	850	1,271	- 421	
<一株当たり当期利益>	< 5.3>	< 4.0>	< 9.3>	< 13.9>	< - 4.6>	

### (参考)セグメント情報

売上高	1/四	2/四見	2014 上見	2013 下実	2013下実 →2014上見	2014FY見
製鉄	12,189	12,311	24,500	24,943	- 443	
エンジニアリング	754	646	1,400	1,798	- 398	
化学	521	629	1,150	1,150	-	
新素材	90	70	160	179	- 19	
システムソリューション	447	413	860	984	- 124	
調整額	▲ 389	▲ 181	▲ 570	▲ 640	+ 70	
経常利益	743	757	1,500	1,874	- 374	4,000
製鉄	710	650	1,360	1,630	- 270	
エンジニアリング	19	31	50	140	- 90	
化学	8	22	30	30	-	
新素材	4	1	5	7	- 2	
システムソリューション	32	18	50	79	- 29	
調整額	▲ 31	36	5	▲ 13	+ 18	

### ※ 連結経常利益差異の内訳

(単位:億円)

2013下実  
→2014上見

### <諸元> (1)当社

	1/四	2/四見	2014 上見	2013 下実	2013下実 →2014上見
連結粗鋼生産量(万t)	1,186	1,250程度	2,430程度	2,389	+ 41程度
単独粗鋼生産量(万t) *1	1,129	1,190程度	2,320程度	2,264	+ 56程度
鋼材出荷量(万t) *1	1,043	1,090程度	2,130程度	2,105	+ 25程度
鋼材価格(千円/t) *1	87.6	84程度	86程度	87.6	- 2程度
為替(円/\$)	102	102程度	102程度	102	-

\*1 日鉄住金鋼鉄和歌山を含む

### (2)全国

	2,766	2,796程度	5,560程度	5,571	- 11程度
粗鋼生産量(万t) *2	1,590	1,608	3,197	3,324	- 127
鋼材消費(万t) *3	(1,015)	(1,016)	(2,031)	(2,092)	(- 61)
<うち製造業>	< 63.9%>	< 63.2%>	< 63.5%>	< 62.9%>	< + 0.6%>
<製造業比率>					
普通鋼鋼材消費(万t)	1,261	1,275	2,536	2,655	- 119
建設	544	559	1,103	1,168	- 65
製造業	718	715	1,433	1,487	- 54
特殊鋼鋼材消費(万t)	328	333	661	669	- 8

\*2 経済産業省見通し \*3 当社推定値

### 連結経常利益 差異

-370

#### 1. 製鉄事業

-270

- ① 生産出荷 +70
- ② 販売価格・構成 -400
- ③ 原料価格(キャリアオーバー含む) +400
- ④ コスト改善(統合効果含む) +200
- ⑤ 在庫評価差 -250
- ⑥ グループ会社 -60
- ⑦ その他(物流費・電力他コストアップ等) -230

#### 2. 非鉄事業・調整額

-100

(注) 上記予想には本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

### 【剰余金の配当方針について】

当第2四半期末の剰余金の配当につきましては、2013年度決算発表時に未定としておりましたが、既公表の配当方針に従い、当期の業績見通し等を踏まえ、1株につき2円(連結配当性向21%)とさせていただきますと致します。

(次ページにつづく)

《参考》既公表案件について

1.事業統合及び再編に関する公表案件

・既実行案件

年度	時期	案件
2013年度	2013.4月	(日鉄住金物流(株)の発足) 日鐵物流(株)と住友金属物流(株)の統合再編
	2013.4月	(日鉄住金テクノロジー(株)の発足) (株)日鐵テクノリサーチと住友金属テクノロジー(株)の統合
	2013.4月	(日鉄住金神鋼シャーリング(株)の発足) (株)日鐵神鋼シャーリングと(株)シーヤリング工場の合併
	2013.9月	(日鉄住金直江津チタン(株)の設立) チタン素材溶解事業に関する東邦チタニウム(株)との合併
	2013.10月	(日鉄住金鋼管(株)の発足) 住友鋼管(株)と日鐵鋼管(株)の合併
	2013.10月	(日鉄住金物産(株)の発足) 住金物産(株)及び日鐵商事(株)の経営統合
	2013.10月	(日鉄住金テックスエンジ(株)の発足) 太平工業(株)及び(株)日鐵エレックスの経営統合
	2014.1月	(新日鐵住金グループにおける電線管事業の再編について) 海外事業会社の管理一元化
2014年度	2014.4月	(当社製鉄所組織の統合・再編成について) 製鉄事業競争力の更なる強化を目的とした当社製鉄所組織の統合・再編成
	2014.4月	(新日鐵住金グループにおける電線管事業の再編について) 販売品種の再編・最適化
	2014.7月	(スラグ販売会社の統合に関する基本合意について) スラグ販売会社の統合・再編

・その他既公表案件等

年度	時期	案件
2014年度	2014.10月 (2013.11月公表)	(設備エンジ・保全系 当社連結子会社8社の経営統合に関する基本合意について) 当社国内設備の総合的な競争力強化、海外事業拠点における設備戦力基盤の確保
	2014.12月末～ (2014.5月公表)	(新日鐵住金グループにおける電線管事業の再編について) 国内生産体制の最適化
2015年度	2015.4月 (2014.7月公表)	(新日鐵住金グループ会社の鉄道関連事業の統合再編(基本合意)について) 鉄道エンジニアリング事業の統合再編及び製鋼所製造プロセス会社としての統合再編

2.主要な海外事業投資の進捗

%: NSSMC出資比率		投資額*	主要設備	製造能力	FY13	FY14	FY15
自動車用鋼板等	AM/NS Calvert 50% (アメリカ) (ArcelorMittal とのJV)	約 15.5億\$ (買収金額総額)	熱延、冷延 CGL等	530万ト/年 -熱延	★ 14/2		
	TENIGAL 49% (メキシコ) (Ternium とのJV)	約 300百万\$	CGL	40万ト/年	★ 13/8		
	JCAPCPL 49% (インド) (TATA とのJV)	約 400億円	CAPL	60万ト/年		★ 14/5	
	NSGT 100% (タイ)	約 300百万\$	CGL	36万ト/年	★ 13/10		
	BNA 50% (中国) (宝鋼とのJV)	約 11億円	No4 CGL 新設	42万ト/年	CGL能力 (125万ト→167万ト)		★ FY15稼働開始
	ICI 80% (アメリカ) (No4 鍛造プレスライン新設)	約 46百万\$	No4 鍛造 プレスライン	約 130万本/年	鍛造プレス能力 (270万本→400万本)		★ FY15稼働開始
	NSCh 42% (中国) (NBC中国の能力増強)	約 32億円	酸洗・伸線・ 熱処理	42千ト/年			★ FY15稼働開始
建材薄板	NSBS 50% (シンガポール他) (BlueScope とのJV)	554百万\$ (グループ総額)	CGL等	140万ト/年 -CGL	★ 13/3 JV設立		
	CSV 30% (ベトナム) (CSC とのJV)	1,150百万\$ (JV合計額)	CDCM	120万ト/年	★ 13/4～		
ブリキ	WINSteel 50% (中国) (武鋼とのJV)	約 230億円	ブリキ ライン等	80万ト/年	★ 13/9～		
鋼管	VSB 40% (ブラジル) (Vallourec とのJV)	5.4bnBRL (VSB資本金)	シームレス パイプ等	60万ト/年 -SML		立ち上げ中	

\* 合弁契約締結時、および当社意思決定時における公表数値

新日鐵住金株式会社

コード番号 5401 上場取引所 東京、名古屋、札幌、福岡

問合せ先 責任者役職名 広報センター所長

氏 名 高橋 望

TEL (03)6867-2130

<2015年3月期 第1四半期決算 補足情報>

[全国]

1. 粗鋼生産量

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2013年度	2,808	2,774	5,582	2,814	2,757	5,571	11,152
2014年度	2,766	(※)2,796程度	5,560程度				

(※)経済産業省見通し

2. 在庫推移

	国内メーカー間在庫 万トン	(在庫率) %	薄板三品：熱延＋冷延＋表面処理 万トン	ときわ会H形鋼 万トン
2012. 7 末	541	(135.6)	392	18.9
2012. 8 末	557	(151.9)	409	18.0
2012. 9 末	568	(147.0)	416	17.9
2012.10 末	554	(139.0)	407	18.4
2012.11 末	543	(142.0)	394	18.3
2012.12 末	546	(151.9)	392	17.9
2013. 1 末	549	(146.0)	397	17.7
2013. 2 末	541	(146.3)	383	18.7
2013. 3 末	541	(125.8)	385	19.7
2013. 4 末	544	(143.0)	382	19.2
2013. 5 末	548	(135.9)	383	19.7
2013. 6 末	561	(146.0)	386	19.7
2013. 7 末	536	(127.3)	376	19.0
2013. 8 末	554	(147.1)	392	18.6
2013. 9 末	553	(133.5)	388	18.7
2013.10 末	561	(135.0)	388	18.0
2013.11 末	549	(125.5)	382	18.0
2013.12 末	565	(138.5)	393	18.5
2014. 1 末	576	(136.4)	409	20.0
2014. 2 末	573	(140.7)	399	22.0
2014. 3 末	568	(126.6)	411	23.4
2014. 4 末	567	(139.0)	413	22.9
2014. 5 末	579	(143.7)	424	23.1
2014. 6 末*	584	(143.5)	—	22.1

\*2014.6 末は速報値

〔当社〕

## 3. 出銑量（当社＋北海製鉄＋日鉄住金鋼鉄和歌山）

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2013年度	1,130	1,147	2,277	1,141	1,062	2,203	4,480
2014年度	1,105	1,190程度	2,300程度				

## 4. 粗鋼生産量

【連結ベース】 当社＋国内連結子会社

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2013年度	1,213	1,214	2,427	1,226	1,163	2,389	4,816
2014年度	1,186	1,250程度	2,430程度				

【参考：単独ベース】 当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2013年度	1,150	1,152	2,302	1,163	1,101	2,264	4,567
2014年度	1,129	1,190程度	2,320程度				

## 5. 鋼材出荷量（当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山）

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2013年度	1,029	1,068	2,097	1,038	1,067	2,105	4,202
2014年度	1,043	1,090程度	2,130程度				

## 6. 鋼材平均価格（当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山）

単位：千円/トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2013年度	82.5	86.3	84.4	86.7	88.4	87.6	86.0
2014年度	87.6	84程度	86程度				

## 7. 鋼材輸出比率（金額ベース）（当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山）

単位：%

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2013年度	49	47	48	45	45	45	46
2014年度	46	47程度	46程度				

## 8. 為替レート

単位:円/\$

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2013年度	98	98	98	100	103	102	100
2014年度	102	102程度	102程度				

## 9. 設備投資額（工事ベース）及び減価償却費

【連結ベース】

単位:億円

	設備投資額	減価償却費
2013年度	2,570	3,318
2014年度	3,300程度	3,200程度

以 上